

地理歴史科教育論



第11-12講 教材を活かした授業デザイン

— 目的に応じた教材の選択と活用とは —



演習課題1

- (1) ABCDの**教材の違い**を説明しなさい
- (2) ABCDの教材の特性を踏まえて、**効果的な指示・発問・活動**を考えなさい
- (3) 同一テーマの**4つの異なる歴史教材**を選定し、**指示・発問・活動**を考えなさい
 - ・12時までに kusahara@にメール添付で
 - ・(教材1枚＋指示・発問・活動例1枚)×4種
 - ・件名とファイル名は、「地歴●班」



演習課題2

来週は、

(4) その中の1つor2つを使って、**マイクロ
ティーチング**をしてもらいます

(5) **マイクロティーチング**を手がかりに

- ・各教材の**強みと危うさ**の読み取り
- ・各教材の**使い方**の定式化

を行います

A-1

各年毎のアフリカ向け援助額

(単位:百万\$)

	a	b	c=b-a	d	e=d-b	f=d-a	g=f/a
	2004年	2010年 目標額	2010年目標 額と2004年 の差	2010年 予想額	2010年目標 額と予想額 の差	2004年と 2010年予想 額の差	2004年と 2010年予想 額の差(%)
イタリア	1,392	5,345	3,953	1,157	-4,188	-235	-17%
カナダ	1,010	1,500	490	1,841	341	831	82%
日本	1,660	3,172	1,512	3,535	363	1,875	113%
ドイツ	2,617	6,963	4,346	3,706	-3,257	1,089	42%
フランス	3,111	8,271	5,160	4,415	-3,856	1,304	42%
英国	2,453	6,177	3,724	5,904	-273	3,451	141%
米国	5,387	8,800	3,413	10,771	1,971	5,384	100%
G7合計	17,630	40,228	22,598	31,329	-8,899	13,699	78%

出典: ONEのレポート(50頁)の数字を使用

ONEのレポート = <http://www.one.org/report/2010/en/downloads/DR2010.pdf>

A-2



中国から援助によって建設されたAU会議センターの落成式



B

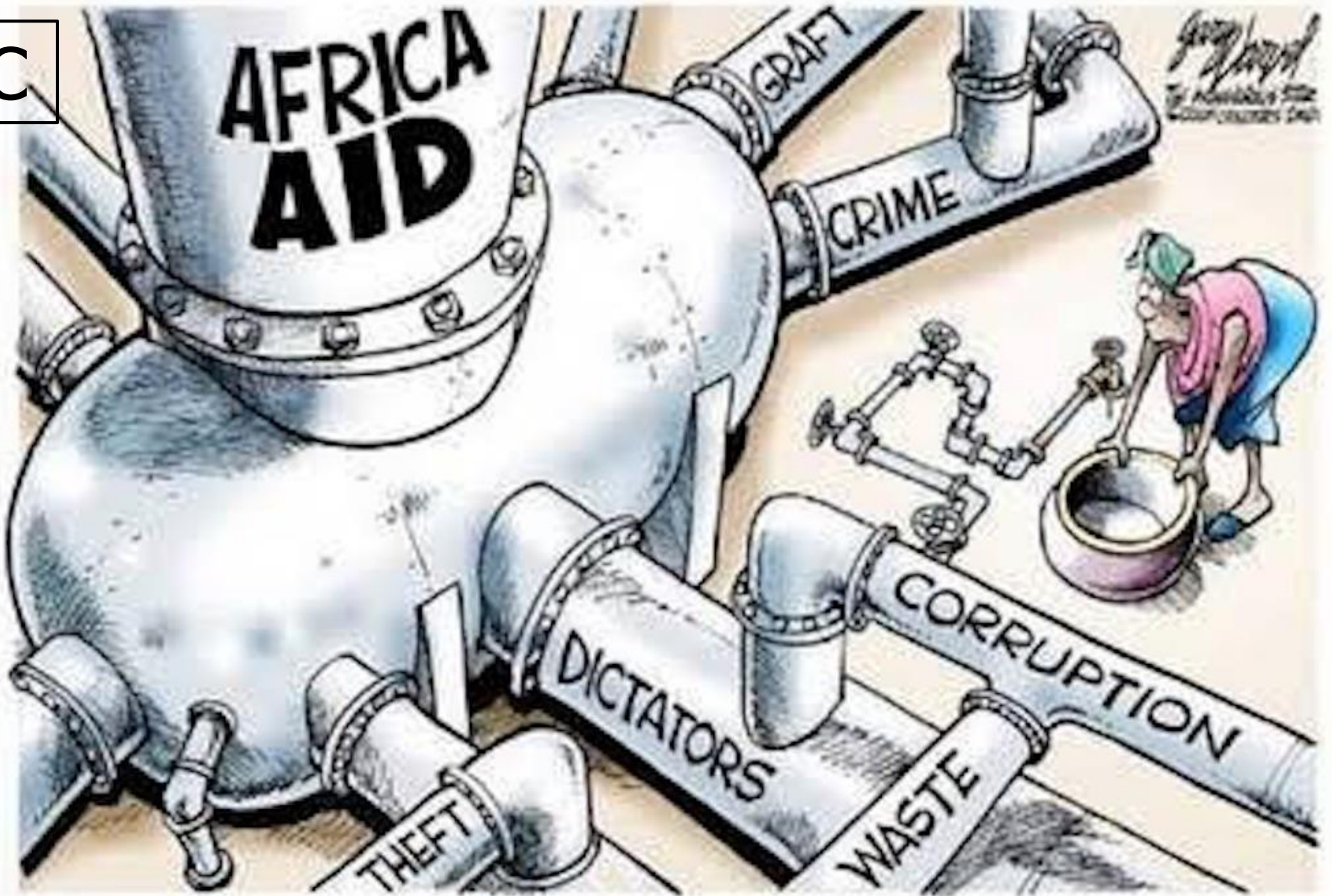


映像は、日本政府が投稿したもので、奇跡の米と呼ばれるネリカ米の普及・栽培指導をアフリカで行っているJICA(国際協力機構)の専門家、坪井達史さんのインタビュー動画です。

ネリカ米のネリカとは、New Rice For Africa の略。アジア稲とアフリカ稲を交配して作られたもので、干ばつや病害にも強いのが特徴です。「日本が数世紀の間大事に育んできた知識を共有した」結果、アフリカにおけるネリカ米の耕地面積は、ここ10年で15倍になったそうです。

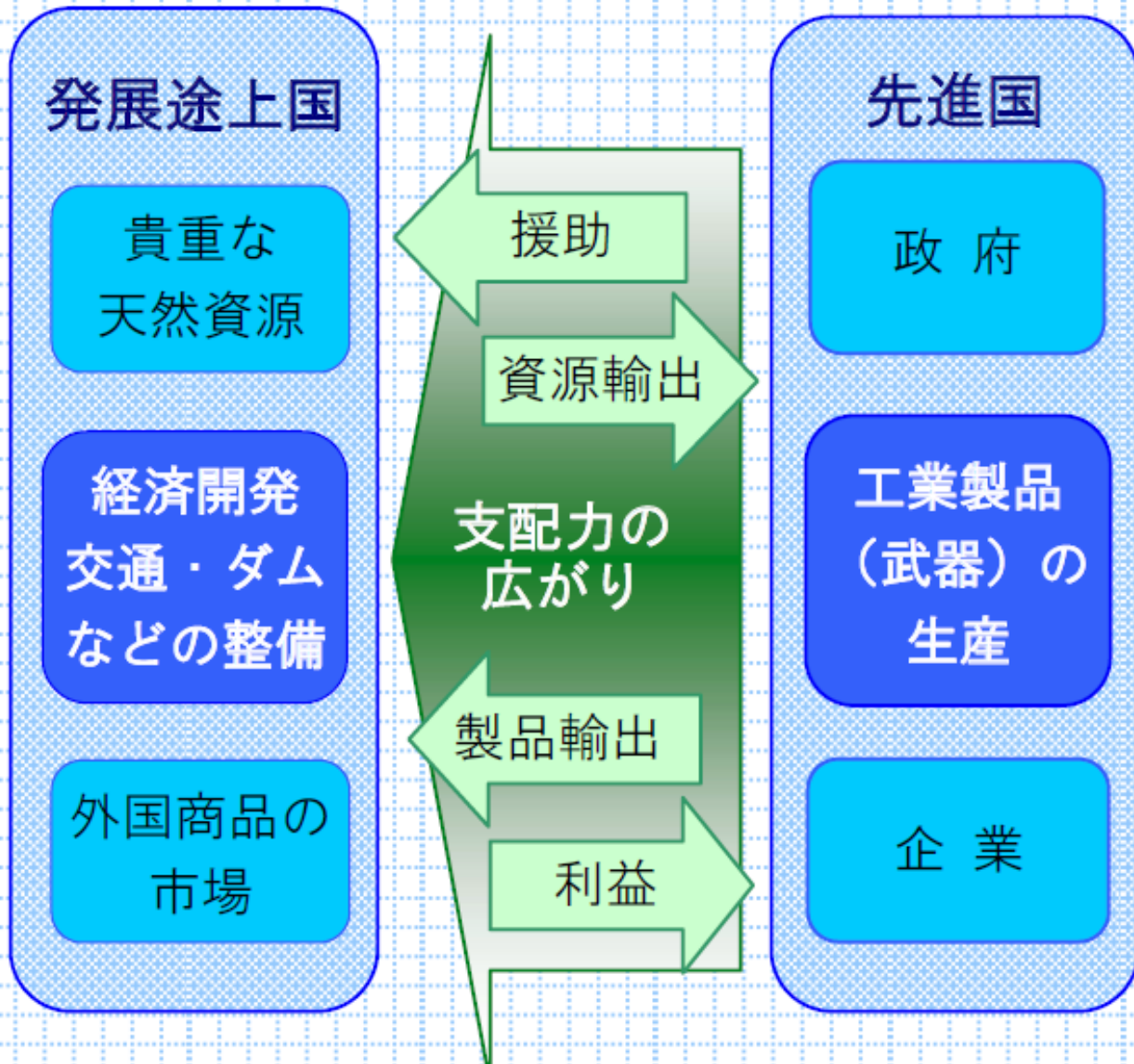
映像の中で坪井さんは、「-----を願っています。ネリカ米は-----するでしょう」とおっしゃられています。

C



アフリカ援助 (Africa Aid)

D

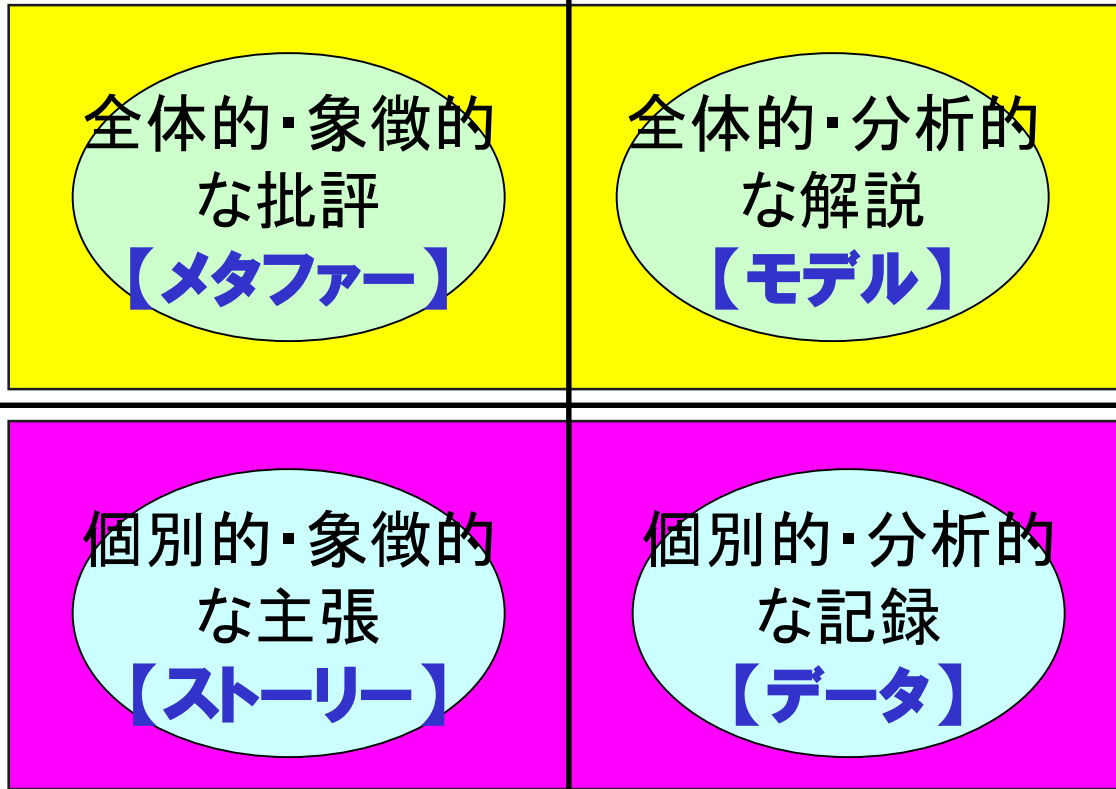


援助は誰がなんのために行うのか

教材を捉える視点

対象の本質・構造を説明

当事者性に基づく意味の再構成



第三者性に基づく意味の再構成

対象の現象・具体を記述

文書資料の場合

詩歌, 批評
キャッチフレーズ

解説文, 論説

本質の説明

当事者性に
基づく意味の
再構成

第三者性に
基づく意味の
再構成

【メタファー】

【モデル】

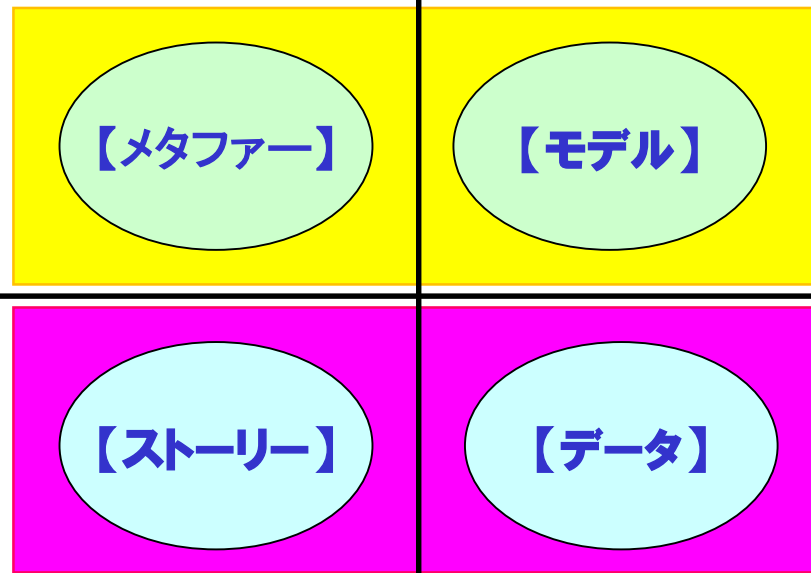
【ストーリー】

【データ】

現象の記述

日記, 紀行文
経験談・自叙伝

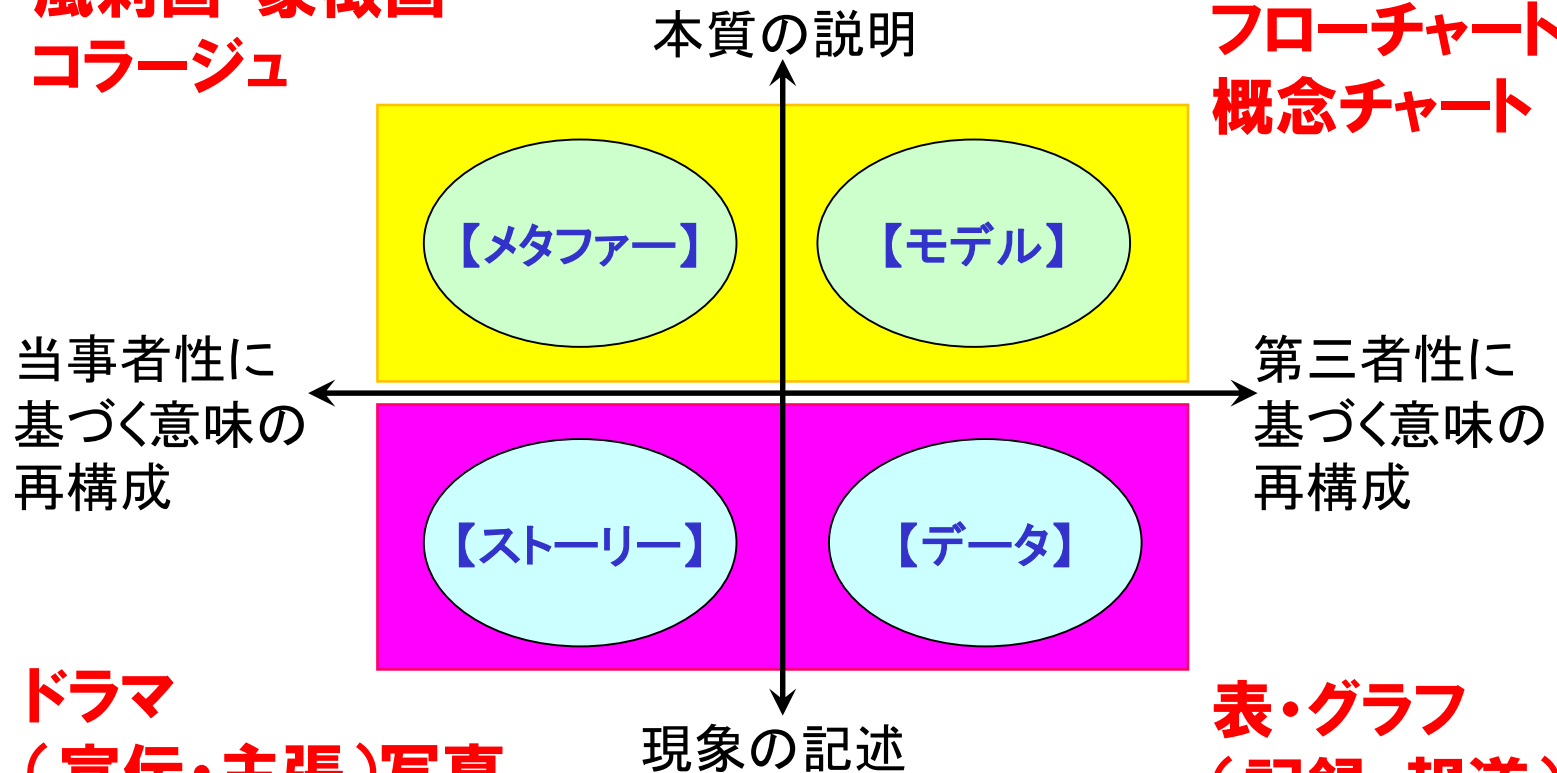
報道・記事
ガイドブック, 統計



図像資料の場合

風刺画・象徴画
コラージュ

構造図
フローチャート
概念チャート



ドラマ
(宣伝・主張)写真
メンタルマップ

表・グラフ
(記録・報道)写真
地形図・主題図



教材には、

- ① 既存の教材を**読み取らせる**場合、
- ② 教材を子ども自身に**デザインさせる**場合、がある
②が、いわゆる**アクティブラーニング**である

教授・学習活動には、

- ① **表現の内容や作者の意図**を、批判的に読み取らせる指示・発問と、
 - ② **学習の成果や社会への関与・発信**を、子どもに創造的にデザインさせる指示・活動が、ある
- ①②は、目標に応じて**選択**されたり**統合**されたりする

